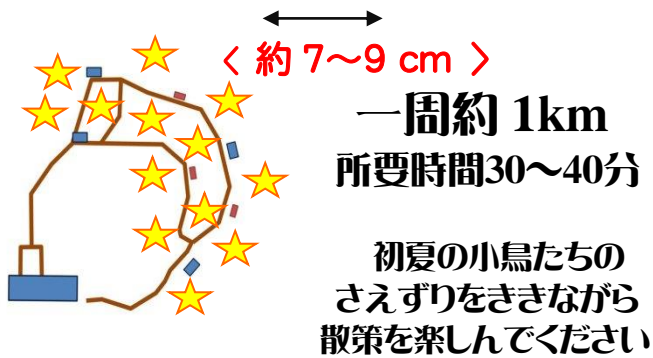


サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.4

今のおすすめは エゾカンゾウ です



【発見難易度】黄色の花です

★☆☆☆☆ ススキノキ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



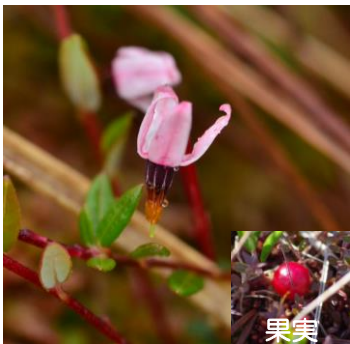
中(約 50~70cm程度)

手のひらくらい

【漢字: 蝦夷萱草】

豊富町の町花で、原野一面に黄色い絨毯のように咲くのは昔からこの時期のサロベツの風景でした。今年も遅霜の被害は無く、2年連続の当たり年となり、6月いっぱい見頃となりそうです。花は朝咲いて夕方閉じる一日花ですが、続々と開花していきます。本州では「ニッコウキスゲ」と呼ばれます。

ツルコケモモ ツツジ科 咲いています



ツツジ科のイメージとは程遠く、細い針金のような茎に、1cm程の外側に反り返ったカタクリのような小さな花が咲きます。英名は「クランベリー」で、秋には真っ赤な果実がなります。

ハナニガナ キク科 咲いています



「ニガナ(苦菜)」の名前の通り、驚くほど苦く、しばらく口の中が麻痺するくらいなのだそう。花言葉もまさに「私を食べないで」です。

ヤナギトラノオ サクラソウ科 咲いています



一見サクラソウ科に見えない姿ですが、間近で見ると小さな花がたくさん集まっています。名前は葉が柳の葉に似て、花が虎の尾のように見えたため名付けられました。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL 0162-82-3950 FAX 0162-73-0360

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!